砂田広島県教育委員会教育部長に聞く

Zoom In（ズームイン）広島県の教育は今

「明治以来 初めて 大改革がなされます」

教育現場は何が問題なのか、どう変わればよいのか

今、広島県全体の教育現場が荒廃していると言われ、その中でも特に東部地域は極めて深刻な状況であると言われています。去る10月２日（土）広島県教育委員会教育部長　砂田勝彦氏をお招きし、広島県の教育の現状と課題、新しい時代の教育への取り組みについて語っていただきました。

二つの改革

今まさに、経済、社会、教育と地球規模での大変革期にさしかかっています。教育については様々な問題記事や論評が新聞、マスコミ等をにぎわしていますが、この大変革期に広島県の教育は二つの改革を進めなければなりません。

まず一つは、極めて異例なことですが、現在文部省から広島県の公教育（国民に対する教育）がおかしいと是正指導を受けている現状があります。少なくとも法令等に基づいた公教育をする必要性があります。

そして二つめに、県民に信頼される公教育づくりと平行しながら新しい時代の教育を創造する必要性があります。

公教育の問題点

広島県の公教育は何が問題なのでしょうか。平成10年４月27日～28日に文部省による現地調査が行われ、同年５月20日に是正指導を受けました。その是正指導の教育内容に関係するものの中に、広島県下では実施率が低いという国旗掲揚、国歌斉唱の問題があります。

「法令に基づいた公教育を…」

これからの国際社会に生きてゆく子ども達は、我が国の国旗及び国歌はもとより、諸外国の国旗及び国歌に対する正しい認識とそれらを尊重する態度を育てることが重要です。

また、それを歌うよう、子どもの内心にまで立ち入って、強制すべきではありませんが、教える先生は個人の立場ではなく教育公務員として学習指導要領に基づき、子ども達に教える責任があると思います。

次に、道徳教育の充実の問題もあります。「人間としての生き方についての自覚を深める教育」の時間として、適切に授業を行うよう指導を受けています。

一方、学校の管理運営関係についても、いくつかの指導がありました。中でも、職員会議の決定がすべてに優先されている学校があるという現状に対し、校長が、その権限を行使し、その職務と責任を十分に果たすことができるよう、職員会議の位置づけ、運用の適正化を図ることが、求められています。県民に信頼される「開かれた学校づくり」を進めていくためには、校長を中心に個々の先生のすばらしい力を結集し、組織として機能する学校態勢づくりが必要です。

広島県においては、こういった様々な公教育の問題をかかえております。これらの問題点の改善なくしては、新しい時代の教育の改善はできないものと考えています。

新しい時代の教育へ向けて

21世紀へ向けて教育は明治以来、初めての大変革期を迎えています。かつては、欧米先進国に追いつけ、追い越せと知識、技能を中心とした効率重視の教育を行い、初等教育レベルという面では全世界のトップ水準になりました。しかし、その一方では思考力、判断力を十分身につけていない子ども達がいることは否めない事実です。これからの時代は、自分で目標を作りそれに向かっていく力をつける教育を行う必要があると考えます。

「学校の枠組そのものが変わります。」

平成14年（2002年）には完全学校週５日制が実施されます。新しい学習指導要領のもとで、義務教育改革を行い、学校の枠組みそのものを変えていきます。現在行われている教育内容を厳選し、基礎的・基本的な内容として、現行の７割程度に減らします。また、それぞれの学校で自由に教育内容をつくることが出来る時間が新設されます。それは、子ども達に「生きる力」をつける総合的な学習の時間です。これは、地域や学校、子ども達の実態に応じ、学校が創意工夫を生かして特色のある教育活動が行われる時間や、国際理解、情報、環境、福祉、健康などの、教科をまたがるような課題に関する学習を行える時間です。子ども達に自ら学び、自ら考える力の育成や、学び方や調べ方を身につけ、学習に主体的、総合的に取り組む態度を育成することをねらいとした授業が展開されます。

例えば、自然体験やボランティア活動、職場体験などの体験的な学習や、課題や問題解決的な学習、また、地域の人が参加する学習、地域の自然や施設を利用しての学習が考えられます。

そこでは、地域にもう一つの教室や、もう一人の先生を求めることも必要なことです。

そのためには、地域、保護者の皆様には、今の学校教育はどうなっているのか、何が問題なのかに関心をもって参加していただきたいと思います。学校側も、開かれた学校を目指して、生徒を抱え込むのではなく、今何が問題なのか、家庭での教育はここまでお願いします等、もっとオープンに保護者と話し合いをしていかなければなりません。

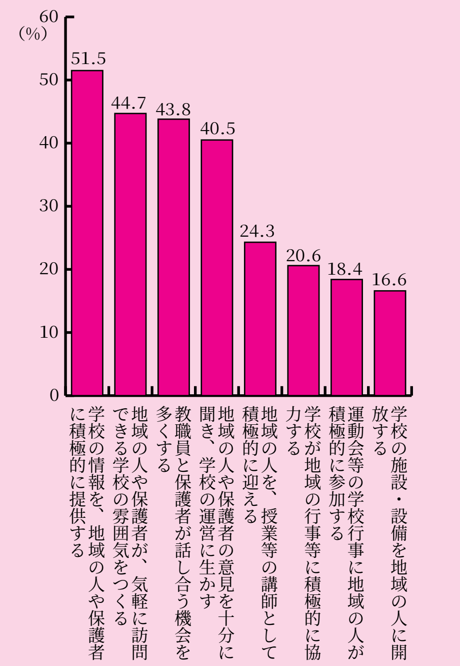
これからの学校教育は

学校の果たすべき役割としては、何よりもまず、生涯をとおして学び続けていく基礎となる「確かな学力」をつけることが望まれます。それを土台として、一人一人の子どもの個性が伸長されます。また、集団生活をとおして、「社会性の基礎づくり」も大切です。さらに、子ども自らが、様々な体験を通して、自分の良さや可能性を発見する場となることも求められています。

また、これからの学校経営には「カスタマーズ・サティスファクション（顧客満足）」、「インフォームドコンセント（説明し納得してもらう）」、「アカウンタビリティ（説明責任）」の観点から、そのあり方が問われています。子どもが学びたい学校、保護者が学ばせたい学校でなければなりません。そのためには学校がどのような教育方針に基づき、教育活動を行っているかなどを説明し、理解を得て、支援を求めていく必要があります。地域の人は自らの税金によって運営されている学校について、ある意味ではオーナーとして学校を知る権利があります。学校について地域の方々がオープンな立場で意見を述べることのできる学校評議員の導入が、広島県でも義務教育改革にあたって提言されています。

教育改革を進めていくためには、県民の理解と協力が不可欠です。県民参加による教育改革を推進し、これまでに培われた広島県の教育力を結集することにより、学校・家庭・地域社会が、それぞれの役割を自覚し、その責任を果たしつつ、「誰かがやってくれる」ではなく、「できることから、はじめよう」という思いで、一体となって取り組んで参りましょう。

「地域に開かれた学校づくり」を進めていくために必要なこと

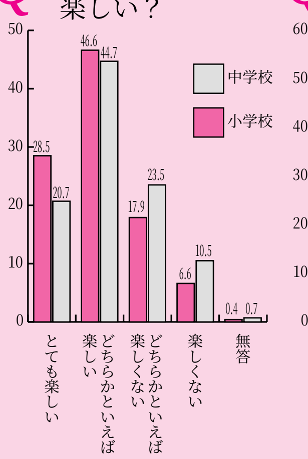


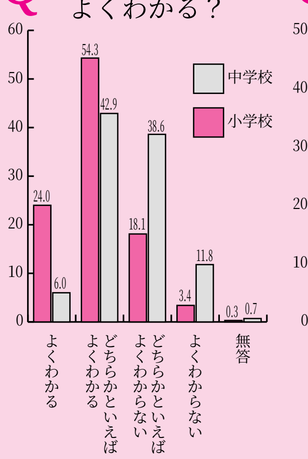
（注）広島県内在住の満20歳以上の県民2,000名を対象に調査

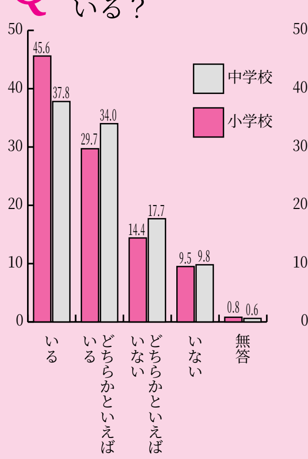
（資料）「義務教育に関する意識調査」
平成10年・広島県教育委員会

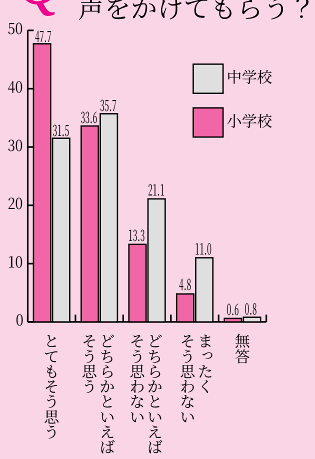
小・中学生4,176人に聞きました。学校に行くのは楽しいけれど…。

子ども達の実態を客観的に把握するため、県内公立学校の小学５年生と中学２年生約4,000名を対象に「生活と学習に関するアンケート」をおこないました。多くの子ども達が「学校が楽しい」と感じる一方で、中学２年生では約半数が「授業がよくわからない」と答えています。また半数以上の子どもが「毎日を忙しい」と感じており、約25%が「相談できる人がいない」と答えるなど、子ども達を取りまく厳しい状況が明らかになりました。（広島県教育委員会発行「くりっぷ」第８号より）









特別寄稿

Zoom In（ズームイン）三原の子ども達は今！

三原警察署
署長　**中迫　高明氏**

今少年問題にどう取り組むべきか

今年三月、三原警察署に赴任した。少年問題は前任の窃盗捜査において、広島県にあっては窃盗事件検挙人員の、63%が少年であり、この数字は全国第８位と高い数字を示している。その数字すら氷山の一角であり、極めて深刻な問題であることは理解していた。

三原に着任し駅前に立った時、少年達の想像を絶する光景に出会い、ついにここまで来てしまったのかと唖然とさせられた。三原駅をはじめその周辺で、一見して高校生と思われる少年少女の喫煙、中には制服を着た少年までも平然として喫煙している姿である。茶髪にイヤリング、鼻輪に唇、中には舌にまでリングを付けているではないか。

さらに驚いたことには、このような光景を見ながら誰一人として声をかける大人達のいないことである。まるですべての大人達が、これら少年から眼をそらし足早に立ち去ってしまうように見えることである。これら少年達の蝟集（いしゅう）している光景は薄気味の悪ささえ感じる始末である。

大河ドラマで全国に紹介された歴史有る町。そんな素晴らしい町で勤務できる喜びで赴任した私には、余りにもショックであった。大都会と異なり、日々行き交う人々の顔も朝夕顔を合わせて、声を掛け合えるこの町で、皆さんはどのように見てどのように感じていらっしゃるのであろうかといぶかしくさえ思えた。

校舎の破壊や学校内で先生が暴力の被害者となり、またこれら少年たちが暴力団関係者と徒党を組み、警察を襲撃するなど、少年の非行とは思えない悪質な犯罪行為の捜査をするたびに、事の重大性に気付いていない少年たち。このような報道が毎日のようにある現状に対して、地域社会の反応は今一つである。まるでよそ様の出来事のように冷ややかな目に映っているのではないのだろうかと、肌寒ささえ感じてしまったほどである。

警察が取り扱う少年の非行事案は、氷山の一角であることをご理解いただきたい。

少年問題には様々な原因があるでしょう。しかし、今これらを嘆き憂いている時間はないのです。三原警察署管内において、少年を取り巻いている環境は誠に厳しいものがあるのです。少年一人一人の自覚を促し、少年の目覚める時を待っている時間的ゆとりもありません。私達は、今の少年達にこの地域を託さなければならないのです。今の少年達をいかに健全に育てるか、問題少年がいるとしたらこれを暖かく包み見守り導いてやるのか、そのことが少年達の未来をつくり、私達の望みを少年達に安心して託すことができるのではないでしょうか。現在の状態をみて、この地域にあって本当に心安らかであることが期待できるでしょうか。心豊かな町、安全で安心して生活出来る地域づくりは、健全な少年を育てることにかかっていると言っても過言ではないと思います。

今こそ地域の皆で取り組もう。私達の町から問題少年を出さないために。思いやりや優しい心の育つ地域をつくろう。

どうか助けて下さい。私の子どもは非常に意志の弱い子どもです。誘惑に勝てる力が備わっていません。間違ったことをしていたら叱ってやって下さい。良いことをしていたら誉めてやって下さい。今日の自分を育ててくださったのは、地域の皆様のおかげなのです。

義務と責任を果たせる子どもにだけはなってほしいと願っています。

少子化時代にあって、ただの一人であっても子どもを落伍させるわけにはまいりません。すべての子どもが私達の宝です。今から、すれ違う子ども達に声をかけてやってください。うつむきかげんの子どもがあったら大きな声で、「おはよう」・「お帰り」と。

三原市PTA連合会
会長　**橋沢　浩二氏**

ＰＴＡのあり方

昨年の文部省による広島県教育委員会への是正指導以来、県教育現場の問題が次々にマスコミにより報じられ、多くの県民の方々が関心を寄せておられることと思います。

PTAとは、保護者と教職員との協議機関であり、共に協力しあって子ども達に健全な教育環境を保障する活動が目的であります。その目的達成のためには、PTA会員はいわゆる学校の運営委員であるべきだと考えております。

なぜなら、PTAのＰは親（保護者）であり、我が子がその学校に通っているという事実の上に学校というシステムが存在している訳で、子どもの育成において責任者であるＰが、学校運営に責任の一端を担うのは当然のことではないでしょうか。

その子どもが、誰に、何を、どのように教えられているのかを親である私たちが知ることはごく当たり前のことであり、同様に学校側も、公正な教育内容を公開することが当たり前のことであると思います。

残念なことに今までPTAのＰである私たちは、学校現場に対し余りにも無関心過ぎていたと反省しなければなりません。学校の本丸は教職員だけに任せ切りではなかったでしょうか。これからのPTAは、子どものために学校現場にももっともっと関心を持たないといけません。

学校は教職員のものではなく、教育委員会のものでもありません。学校は子どもと地域と、そしてPTAのものではないのでしょうか。

昨今よく「開かれた学校」という文字が目に入りますが、PTAのＰに学校現場がはっきり見えてこないうちは、開かれた学校はあり得ないと信じております。

これからはPTAの文字のとおり、ＰとＴがともに学校運営に意見を出し合うシステムが必要であり、そのためには広く地域と連携し、謙虚な気持ちでの情報交換が大切になると考えているところです。

つぼみ　くし焼き 狄　(有)土居写場　(有)童夢　(有)ときわ薬局　ドコモショップ三原駅前店　(株)鳥徳　(有)中川書店　中間醸造(株)　難波産婦人科　(株)日本旅行三原支店　皆実町(有)灰谷鉄工所　(有)花岡商会　(有)ハリカ三原店　桧山幸三税理士事務所　スタンドひらた　広島県東部鮮魚冷凍魚事業(協)　(有)カメラのファースト　(株)富久屋　藤井建設(株)　フジ・エンタープライズ(有)　フジグラン三原　フラワーショップふじもと　ホテルTODAI　瀬戸内魚礁本陣　ホンダプリモ三原皆実　(株)まじま製麺　松浦生花店　(株)松田鐵店　(有)松野商店　(株)マネジメント・ブレインズ　丸仁建設(株)　(株)ミウラ尾道営業所　三和(株)　お好焼・鉄板焼 ミニミニ　三原カンツリークラブ　三原金融協会　(株)三原国際ホテル　三原重量(有)　(株)ミハラスーパー　(有)三原ターミナルホテル　エム・キャット三原テレビ　(株)三原美装社　三好印刷(株)　明治生命保険(相)　(株)もりみょう洋服店　(株)やっさ石油　ヤマサ建設(株)　(医)明清会山田脳神経外科　山本衣料(株)　(有)山本住設　(株)よしいけ　(有)吉岡建具製作所　由水酒販(株)　よいえびす　(株)読宣備後三原営業所　ブライダルサロン(株)ラ・ベルフィーユ　下町の居酒屋六文銭　神本ワークビュー　買・売・質 わたべ
(有)鶴田電設コンサルタント　(株)天満屋三原店　(有)東亜不動産　和食処 登喜将　(有)徳永興行　とりごえ食品(株)　中川広告(中川の義さん)　(株)中原洋服店　中村電工(株)　(株)ナンバ洋服店　(株)農協観光島根支店　(株)博善社　(株)原アルミ建材　半さん　平木鶏卵　(有)お茶の平野園　広島電気工事(株)　ファミリー歯科診療所　(株)福屋三原店　(有)藤井鋼産　富士金属工業(株)　(株)富士鉄工所　ベスト電器三原店FC白須電機(株)　本郷建材工業(株)　(有)本田石材工業　マイエッグ・ヤマナ　益谷建設(株)　松尾社会保険労務士事務所　ビジネス旅館 松野　ジュエリーサロン まつば　スナックマリア　おしゃれサロン マルゼン　(株)ミッキー堂　(有)みどり書店　ミナミゴルフ(有)　(株)三原給食センター　三原グランドパレス　(株)三原シティホテル　食協チェーン三原食糧企業組合　(有)三原スバル販売　三原ダンス教室　三原塗装(株)　三宅石材店　むねひろ歯科クリニック　盛影塗装(株)　ヤスミチ美容室
三原の味です名物です　献上銘菓 やっさ饅頭　ヤッサ饅頭本舗
吉井ビジュアート(有)　寝・生活館 よしなが　夜船司法書士事務所　読売新聞三原東I・C　ラウンジOB　理研設計(株)　ローソン三原臥竜橋店　渡辺土地建物(有)　(有)渡辺商会

本誌"やっさもっさ"は、㈳三原青年会議所の自主財源とここに掲載の企業のご協力を得て発行しています。

・ISグループ　(株)赤石硝子建材　安芸典礼(有)　浅田公認会計士事務所　天野歯科医院　スナック石垣　糸崎木材(株)　服地の今井　(有)上田製版印刷所　(株)上野建材センター　宇野税理士事務所　(株)エヌワイティグループ　桜南食品(株)　大東印刷(株)　大成土地家屋調査士事務所　(株)オギロパン　医療法人社団 越智眼科　ピアノラウンジ 帯　(有)笠下工務店　(株)勝村商店　レストランかねしょう　かもめしんきん　関西通商(株)　完山商店　キャメル　(株)キヨーデン　すなっくくじら　グラフィック機材(株)　芸備燃料市内4S・S　(医)仁康会小泉病院　河城石材店　(医)里仁会興生総合病院　小島洋紙(株)　小原製パン(株)　(合)小松木工　スタンドクラブコント・パートII　(有)崎本不動産　(有)さこだモータース　(株)サツキ工業　沢山塗装店　三陽環境管理(株)　山陽建設(株)　山陽製粉(株)　(株)システムイン国際　柴田産婦人科　ジャスコ三原ショッピングセンター　(株)正田文華堂　新宅建設(株)　(株)鈴木　瀬戸内不動産(有)　浜田市 石王観光(株)　ソナリア&ベッド館　第一歯科医院　大三紙業　ダイフク興産(株)　(有)多田電気工事　(株)田中組三原支店　(株)タニグチ　(有)中央地所　中国建機(株)本郷営業所
(株)アイジー販売　Ⓐ赤谷木材(株)　秋吉酒店　うまい酒 旭菊水　居酒屋 あやか　(有)泉自動車工業所　イノセント　岩栄進堂　上田鉄工(株)　(株)ウツミ　NRK保険事務所(有)　(有)エルサ　大下建設(株)　やき肉 鳳　岡本電機(株)三原営業所　奥延食品(株)　小野税理士事務所　カー・サザン　勝原不動産　勝村木材(株)　カネダ漢方薬品(株)　(株)ガルバ興業　関西薬品(株)　スナックギフト　共栄商事(有)　共立電機産業(株)　熊田ガラス(株)　グランカフェ　藝陽日日新聞社　広愛産業(株)　(有)光進　(株)コグマヤ　(株)コパックス　(合)小松家具店　コンディトライ フォックス　(有)サービスセンター　作田洋紙(株)　佐竹工業(株)　(株)沢井製作所　三基工業(株)　中国新聞広告代理店三洋企画(株)　山陽コカコーラボトリング本店(株)　(株)シゲモリ　(株)シーズ　柴原電機(株)　順勝寺　私立幼稚園 昭和園　誠和工業(株)　砂田歯科医院　(株)セイム　積水化学工業(株)　(株)大建組　(有)大日ヘルスショップ　(有)高山ペットショップ　田中運輸(株)　田辺製麸工場　(有)多森薬局　(株)中国新聞サービスセンター　リカーランド つきやま